

お茶壺道中行列再現

10月22日(日)開催の産業祭りにおいて平成11年度市民委員会制度により認定を受けた「お茶壺道中研究会」の報告書をもとに、お茶壺道中行列の再現とお茶壺道中シンポジウムが開催されます。この開催については「お茶壺道中研究会」・「お茶壺道中シンポジウム準備会」の市民グループによるものです。

●お茶壺道中シンポジウム【参加費 無料】

多くの市民に貴重な史実を再認識していただくと同時に、地域の活性化を図ることを目的にシンポジウムを開催します。皆さんの積極的な参加をお願いします。

開催名 勝山城とお茶蔵

《谷村とお茶壺道中の関わりとは?》

日時 10月22日(日)午後1時30分～4時

場所 都留市文化会館4階ホール

基調講演 「お茶壺道中の文化的意義」

辻村 明氏(東京大学名誉教授)

シンポジウム開演

司会進行 辻村 明氏(東京大学名誉教授)

パネラー 井上六平氏(京都市「井六園」社長)

宮本 勤氏(駿河古文書会長)

内藤恭義氏(市郷土研究会理事)

上安平洲子氏(NHKチーフディレクター)

●都留市とお茶壺道中のかかわり

お茶壺道中とは、江戸時代、将軍に毎年宇治の新茶を献上するため、宇治へ採茶使を赴かせて将軍家御用達のお茶を江戸と宇治間を運ばせた行列をいい、谷村藩主秋元公の時代に、茶が湿気と暑さは何よりも大敵とされるなかで、将軍献上の茶壺を夏の間保存する場所として谷村勝山城が選ばれたことにより、道中の帰路が中山道、甲州街道がお茶壺道中のコースとなり、毎年谷村にお茶壺道中が訪れたとあります。

当時「お茶蔵」は全国で唯一のものであり、勝山城に保管された「お茶」は最高級品の品物であったそうです。

問合せ

お茶壺道中研究会 岩間公勇 ☎(43)2565

産業観光課 観光振興担当



●お茶壺道中行列再現

「お茶壺」が保管されていますミュージアム都留から産業祭りのメイン会場である谷村第一小学校グラウンドまで、お茶壺道中行列を再現します。

なお、会場においては、抹茶の無料サービスも行いますので、みなさんのお越しをお待ちしています。

出発 午前10時

到着・受渡の儀 午前10時25分

●お茶壺の復元

今回のお茶壺道中行列に使用する「お茶壺」は、秋山新一様(田原一丁目)、「装飾品」は髪飾織維様(与繩)より、寄付がありました。

この壺は、豊臣秀吉をはじめ諸大名に珍重された「呂宋壺(ルソンつぼ)」を参考に、ベトナムのパッチャンで制作されたものです。

現在、産業祭りでの「お茶壺道中行列」の出発地である「ミュージアム都留」に展示してあります。

悪質商法

NO!



- 商標の色、形、大きさ、表示位置など
- 売価が破格的なものは要注意
- 有名ブランド品は、国外を除いて極端に廉価にはなりません
- 信用のおける店で買う
- 保証体制の確認を
- 本物に詳しい人と一緒に買い物へ行くとよいでしょう

また、こうした不正な手段で商品を提供することは、意匠、著作権などの「知的所有権」を侵害することになります。

警察では、消費者の被害防止のため、不正商品の取り締まりを強化しています。

有名ブランド品は、持つ人のファッションセンスや経済的価値観を満足させてくれるもので、一般的に非常に高価ですから、買う前には、十分な研究が必要といえるでしょう。

有名ブランド品購入時のポイント

○ 商標などの正しい知識をもつ

偽ブランド商品にご注意

最近、ブランド名を借り「偽ブランド商品」が大量に出回り、本物と信じて買った物が「実は偽物だった」という被害を受ける方が増えています。特に、近年のブランド品は組織的に密造され、素人では全く見分けがつかないくらい精巧なものです。

城下町奉行だより

